



教育目標「希望に燃えて 伸びゆかん」
心やさしく、人を大切にする子 自分の考えをもち、共に学び合う子
自分を表現し、相手を大切にする子 ふるさとを愛し、誇りに思う子

〒625-0133 舞鶴市字平 1583 番地
TEL (0773)-68-0002
FAX (0773)-68-0007
HP <https://oura-maizuru.edumap.jp/>



『生き心地の良い学校』を目指して ～ 44 人の仲間とともに ～

昨年の秋、花いっぱい運動で1・2年生が植えてくれたキンギョソウやナデシコ、ビオラなどの植物が色とりどりの花を咲かせています。桜が散った後の校庭を華やかで居心地の良い空間にしてくれています。

4月9日(木)、1年生6名が入学しました。学校生活にも少しずつ慣れ、授業では真剣な表情で学び、休み時間は学年を越えて元気いっばいに運動場や体育館で遊ぶ姿が見られます。全校児童は44名となりました。児童一人一人が生き活きと充実した学校生活を過ごすことがで

きるよう、児童と教職員、そして地域・保護者の皆様とつながり、安心・安全な学校づくりを進めていきます。



1年生 入学式後の教室の様子



1年生 読み聞かせの様子

先日、本を読んでいると興味深い研究に目が留まりました。『生き心地の良い町』(岡檀著、講談社)という本に、自殺率が極めて低いある町について、その要因を丁寧に調べた研究結果が紹介されていました。その中で、自殺の危険を緩和するもの(自殺予防因子)として、次のような点が挙げられていました。

- ・「色んな人がいてもよい」という多様性を尊重する考えが地域に広がっていること。
- ・地域のリーダーを選ぶ際、学歴重視ではなく、問題解決能力を重視していること。
- ・困ったときに人に助けを求めることを恥ずかしいと感じない文化があること。

これら自殺予防因子は本校が日頃大切にしていることと非常に似通っていることに

驚きました。大浦小学校はこれまで、「一人一人の違いを認め合えること」「主体的に問いを見つけて探究していくこと」「困ったときは誰かに頼ってよいこと」等を児童に繰り返し伝えてきました。これらが大切にされていくことで、児童一人一人の学校生活はより楽しく充実したものになるのではないかと考えます。誰もが安心して自分らしく過ごすことのできる学校は『生き心地の良い学校』と言い換えることができます。

近年、大浦校区にはIターンやUターンで移住される方々が増え、今年度は有難いことに児童数が現状維持となりました。様々な国から文化や習慣の違う児童が転入しても、仲間として受け入れる豊かな心を持った大浦小学校の児童です。『生き心地の良い学校』を目指して現在進行形ですが、地域や保護者の方々の温かな見守りが土壌にあることでそのような児童が育っていると実感しています。これからも地域や保護者の皆様と手を取り、将来、社会でたくましく創意工夫して生きていける児童を育てるために教育活動を進めていきます。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

校長 鎌野 高信 教職員一同

○本校教育活動の広報発信の一つとして、学校ホームページで学習の様子を公開しています。
右記のQRコードからも開くことができますのでぜひ御覧ください。

